



2024年11月13日

各 位

上場会社名 日本エアーテック株式会社
代 表 者 代表取締役社長 平沢 真也
(コード番号6291 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 渡辺 直樹
(TEL:03-3872-9192)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた当社の対応について

当社は、本日開催の取締役会において、現状を分析し改善に向けた方針を下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析

当社は、「きれいな空気で、未来を支える。」とのパーパスを掲げ、中期経営計画(2024年～2028年)に基づき重点方針に取り組んでおります。半導体・電子分野を始めバイオ分野までの幅広い顧客に向け、優れた省エネルギー性能を有する機器を開発し拡販に注力するとともに、生産能力向上のため工場及び倉庫機能の拡充に向けた設備投資を行っております。

当社では直近の6年度においてコロナ禍の2020年度を除き、PBRは1倍を下回る水準となっており、企業の資産価値に対し株価が割安の水準で推移していると認識しております。PERにつきましては、10～17倍程度であり株主還元及びIR活動を強化する等の取組みが必要と認識しております。また、ROEにつきましては、2020年度、2021年度は10%を超えたものの、現在は5%程度となっています。なお、ROEはCAPM及びPERより算出した、近年の株主資本コスト(約5～7%台)とほぼ同程度であり、ROE向上策が必要と認識しております。

直近6年度分の経営指標推移

決算年度(12月期)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高[百万円]	10,190	10,442	12,487	14,289	13,172	13,646
営業利益[百万円]	427	435	1,414	1,991	1,105	707
営業利益率[%]	4.2	4.2	11.3	13.9	8.4	5.2
純利益[百万円]	410	405	1,136	1,584	1,017	731
純利益率[%]	4.0	3.9	9.1	11.1	7.7	5.4
PBR[倍]	0.52	0.67	1.35	0.91	0.79	0.90
PER[倍]	12.49	16.48	13.87	7.70	10.75	17.28
ROE[%]	4.2	4.0	10.3	12.4	7.4	5.2
配当金(円/株)	20	22	33	50	60	60
配当性向(%)	43.5	48.5	28.9	32.7	60.6	84.7
配当利回り(%)	3.5	2.9	2.1	4.2	5.6	4.9

2. 改善に向けた方針

現状分析で認識した当社の課題を踏まえ、以下の取組を通じて事業成長と収益性の向上を図る各種方策に取組み、ROE、PER双方を改善しPBR向上を目指し、中期経営計画（最終年度 2028年12月期）を推進し、その結果としてROE 7%以上とすることを目標とします。

(1) ROEの向上

- ① 売上高純利益率：案件利益率、生産性及び人的資本の向上への取組み。
- ② 総資産回転率：売上高拡大及び棚卸資産圧縮への取組み。
- ③ 財務レバレッジ：成長戦略投資及び株主還元への取組み。

(2) 株主還元方針

- ① 総還元性向 65%以上（2024年12月期～2028年12月期）
- ② 機動的な自己株式取得

(3) 工場等への設備投資

赤城スマートファクトリー第2工場（仮称）の建設を行い、標準品生産ラインの移設による生産性の向上及び売上増加を図る。また、群馬県伊勢崎市近辺の賃借倉庫縮小・集約及び工場と倉庫間の輸送効率改善による、保管費用及び輸送費用を削減する。

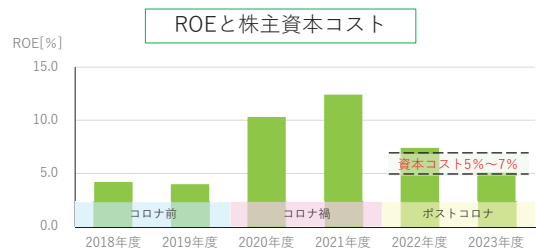
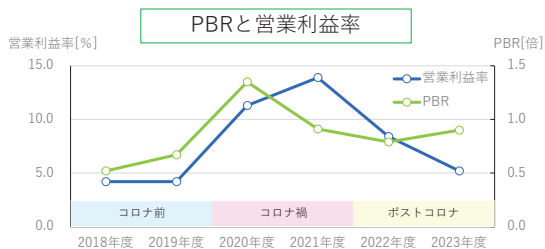
以 上

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み

2024年11月13日
日本エアーテック株式会社
 証券コード6291

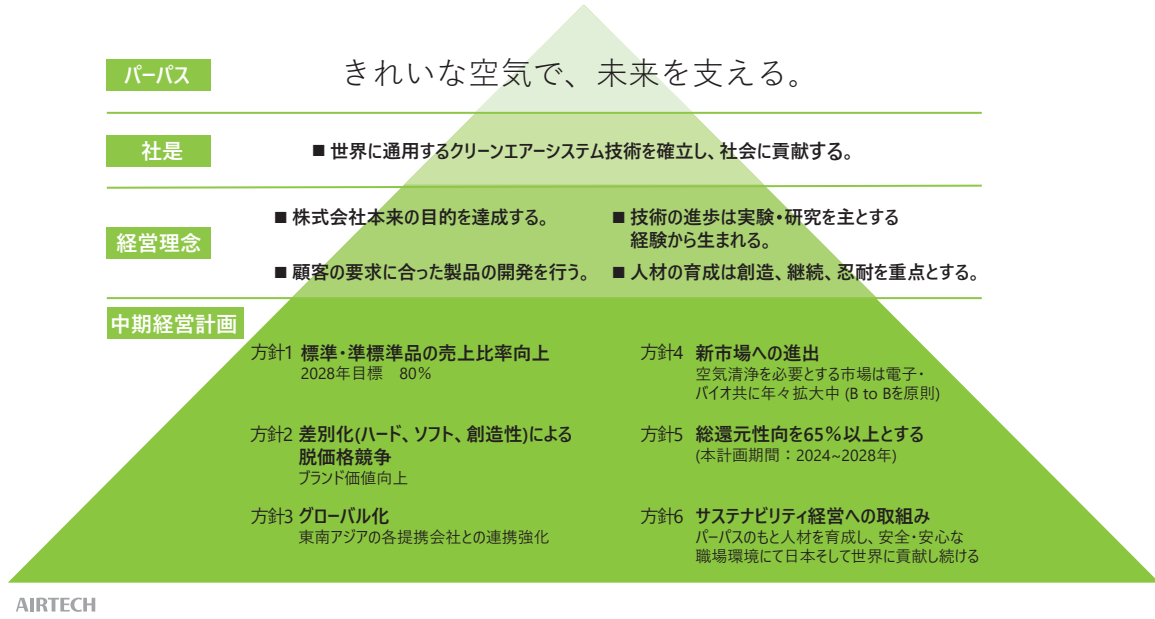
1. 現状分析

- ◇ 直近におけるPBRは0.9倍と、1.0倍を下回る水準となっております。
- ◇ 当社では株主資本コストの水準をCAPM及びPERより算出しており、近年では約5～7%台と認識しております。
- ◇ 近年におけるPERは、10～17倍程度であり、株主還元及びIR活動を強化する等の取組みが必要と認識しております。
- ◇ 当社のROEは、株主資本コスト（約5～7%台）とほぼ同程度となっており、直近では5%台となっております。



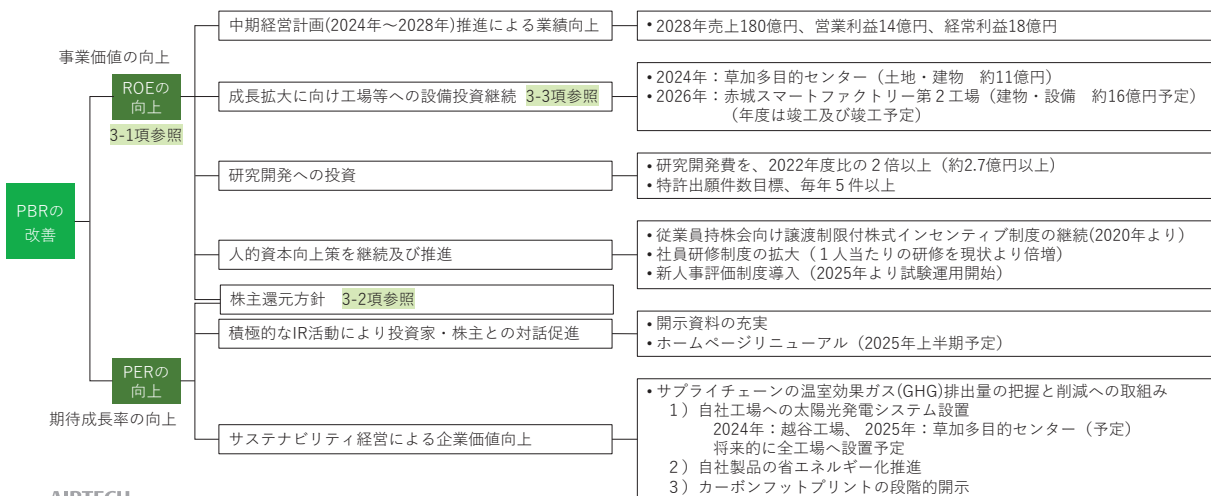
決算年度 (12月期)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高 [百万円]	10,190	10,442	12,487	14,289	13,172	13,646
営業利益 [百万円] / 営業利益率 [%]	427 / 4.2	435 / 4.2	1,414 / 11.3	1,991 / 13.9	1,105 / 8.4	707 / 5.2
純利益 [百万円] / 純利益率 [%]	410 / 4.0	405 / 3.9	1,136 / 9.1	1,584 / 11.1	1,017 / 7.7	731 / 5.4
PBR [倍]	0.52	0.67	1.35	0.91	0.79	0.90
PER [倍]	12.49	16.48	13.87	7.70	10.75	17.28
ROE [%]	4.2	4.0	10.3	12.4	7.4	5.2

2. パーパス・社是・経営理念 及び 中期経営計画方針



3. PBR改善に向けた方針・目標

1. 事業成長と収益性の向上を図る各種方策に取組み、ROE、PER双方を改善しPBR向上を目指します。
2. 中期経営計画(最終年度 2028年12月期) を推進し、ROE 7%以上を目標とします。



PBR改善に向けた方針・目標

3-1. 具体的な取組み：ROE向上

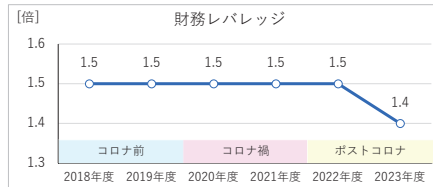
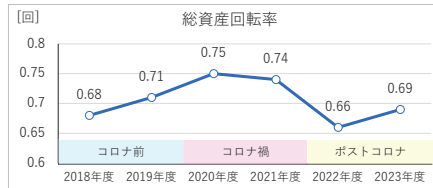
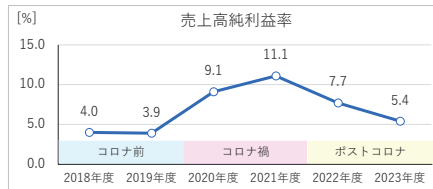
ROEの構成
要因別対策

$$\text{ROE} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$$

$$\times \frac{\text{売上高純利益率}}{\text{売上高}}$$

$$\times \frac{\text{総資産回転率}}{\text{総資産}}$$

$$\times \frac{\text{財務レバレッジ}}{\text{自己資本}}$$



ROEの向上策

- ◇ 案件利益率向上
- ◇ 生産性向上
- ◇ 人的資本向上

- ◇ 売上高拡大
- ◇ 棚卸資産圧縮

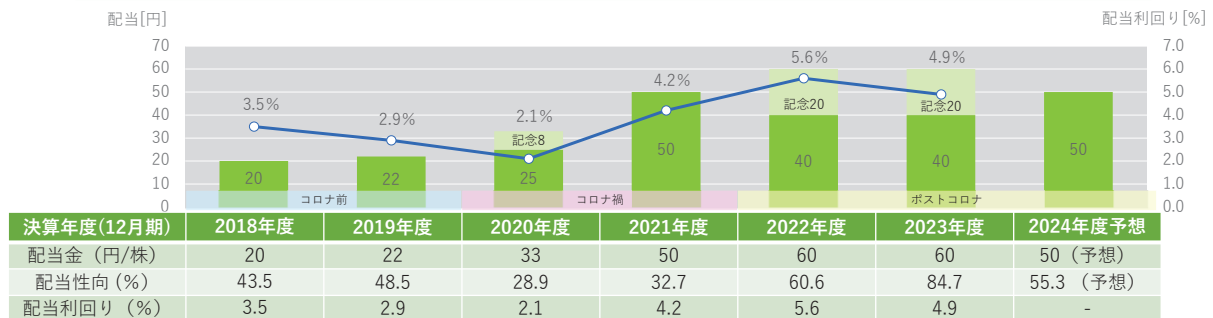
- ◇ 成長戦略投資
- ◇ 株主還元

PBR改善に向けた方針・目標

3-2. 具体的な取組み：株主還元方針

- 1) 総還元性向 65%以上 (2024年12月期~2028年12月期)
- 2) 機動的な自己株式取得

- ◇ 当社では、持続的な成長実現に向けた人的資本投資、社内環境整備、設備投資、研究開発投資を最優先課題とし、社会課題解決に貢献すべく注力します。
- ◇ 利益配分につきましては、将来の事業展開と各種リスクを鑑みながら必要な内部留保の充実を図りつつ、継続的に安定した配当を実施していくことを基本方針としております。
- ◇ 株主還元を重要課題と捉え、2024年~2028年度12月期の期間方針として、総還元性向65%以上を実施してまいります。



【注記】配当利回りは決算年度末の株価にて算出しております

PBR改善に向けた方針・目標

3-3. 具体的な取組み：工場等への設備投資

赤城スマートファクトリー第2工場（仮称）の建設

(1) 目的

- ① 標準品生産ラインの移設による、機器生産性の向上及び売上の増加。
- ② 群馬県伊勢崎市近辺の賃借倉庫縮小・集約及び工場と倉庫間の輸送効率改善による、保管費用及び輸送費用の削減。

(2) 効果

- ① 2028年度における工場機器生産能力を、2024年度比にて約20%増加させる見込み。
- ② 群馬県伊勢崎市近辺の2028年度倉庫賃借料を、2024年度比にて約65%削減させる見込み。
- ③ 輸送効率の改善により赤城スマートファクトリーの2028年度物流費用を、2024年度比にて約20%削減させる見込み。

(3) 設備投資概要（赤城スマートファクトリー用地内に建設）

- ① 建物（組立工場、倉庫）：床面積 8,680㎡（2,630坪） 2階建
- ② 建設費 総額：約16億円予定（借入金及び手元流動資金）
- ③ 完成予定：2026年12月予定

